

☆☆矢野目小学校教育目標☆☆互いを大切に、笑顔で協働する子どもも☆☆自ら学び、深く考えて行動する子ども☆☆心と体を鍛え、命を大切にする子ども

令和6年度矢野目小学校 学校だより

みんなの広場 2

笑顔があふれ、明日もまた来たくなる学校

2024.5.23 発行 No.23 文責 目黒 満

今週は、かぜ・頭痛・咳による欠席者が増えています。日中と朝晩の寒暖差、日差しの中での毎日の練習、乾燥した空気等も一因と考えます。運動会に向けた回復と体調管理を引き続きお願いします。



早寝・早起き・朝ご飯

家庭と学校ががっちり手を繋ぐ2年目に

今週末25日(土)が運動会です！♪♪♪元気いっぱい がんばろう♪♪♪ お子さんの頑張る姿に拍手・喝采と称賛・承認のシャワーを

25日(土)が、いよいよ矢野目小学校運動会です。予報によれば、爽やかな青空の広がる一日になるとのことですので、予報が当たることを期待します。



子どもたちは、運動会で、これまでの練習の成果を精一杯発揮し、ご家族にその勇姿を見せてくれるはず。運動会と言えばかけっこが昔から定番ですが、ゴールする最後の瞬間まで、諦めることなく自分の力を出し切って走りきることが大切です。

子どもは、一人ひとりみんな違って、かけっこが得意な子もいれば苦手な子もいます。かけっこは苦手でも、別のことがとても得意な子もいます。一人ひとり得意なこと、そうでないことがあるのが当たり前です。「運動会が楽しくて楽しくて



待ち遠しい」という運動が得意な子どももいれば、「比べられるのが辛い・嫌だ」と思っている子どももいます。かけっこをはじめとした運動は、否が応でも上手・下手が分かっけてしまいます。がんばって走っても、走るのが苦手な子にとっては、運動会はマイナスな場になってしまうのかもしれない。

学校は『運動会』だけでなく、一人ひとりの得意に応じて、みんなが輝けるさまざまな分野での『○○会』を開ければいいのに・・・と思うことがあります。例えば、『お絵かき会』『ひっ算会』『漢字会』『折り紙会』『昆虫会』『音読会』『歌う会』・・・といったような会を開催し、子どもたちみんなが、そのいずれかの会で輝やくことができればいいと思います。



でも、その会は、『競い合う会』ではなく、子どもたち一人一人が、自分の好きなこと・得意なこと・夢中になれることを披露することによって一人一人のよさをみんなが認め合えるような『○○会』であってほしいとも考えます。

大切なことは、競争等の結果を評価するのではなく、たとえ苦手なことであっても諦めず何回も練習し、自分の力を出し切って取り組む頑張る気持ちや根気強さ、チームで団結し、友だちと力を合わせて挑む姿勢、うまくいなくても何度も取り組む粘り強さや諦めない心、やり遂げた時の達成感や周囲に対する感謝等に対する評価を重視して、その子のよさを見つけられるかどうかです。

こうした視点からの称賛のことばや満面の笑顔での承認という金メダルを、日々、わが子にあげて下さい。それがお子さんの成長のエネルギーとなり、将来、社会に出たときにも周囲から愛され、日々笑顔で前向きな生活ができる「生きる力」になるはず。

PTA サポーターの皆様の積極的なご協力に感謝！

4月に登録いただいたサポーターによる運動会協力では大勢の皆様の協力をいただくこととなりました。

朝の会場準備37名、競技中の用具出入れ・補助30名、終了後の椅子搬入補助55名、片付け34名です。

こんなにたくさんの方々のご協力がいただけること、心より感謝いたします。当日はケガのないようよろしくお願いいたします。

※ 今朝 LEBER で全家庭に、運動会協力関係の通知を送りました。対象は、今回のサポーターの皆様でした。紛らわしい送信となり、ご迷惑をおかけしました。

